

こたえ 水のすがた

基礎②

水のすがた

水は、温度によって、すがたをかえます。水を冷やしていくと、〇度でこおり始め、かたい氷になります。氷のように、形のきまったすがたを「固体」といいます。

反対に、水を熱していくと、やがて百度近くで、ぶくぶくとあわを出してふっとうします。このとき、水は目に見えない水蒸気すいじょうきになって、空気の中へ出ていきま

す。水蒸気すいじょうきは目に見えませんが、やかんの口から出る白いゆげは、水蒸気すいじょうきが冷やされて、小さな水のつぶにもどったものです。水蒸気すいじょうきのようなすがたを「気体」といいます。そして、ふつうの水のように、流れるすがたを「液体えきたい」とい

います。そして、ふつうの水のように、流れるすがたを「液体えきたい」とい

います。そして、ふつうの水のように、流れるすがたを「液体えきたい」とい

1 水がこおり始めるのは、何度ですか。



度

2 水を熱したときに出ていく、目に見えないものは何ですか。



3 水が氷になると、かさはどうなりますか。

ア へる。

イ ふえる。

ウ かわらない。

4 水の三つのすがたのうち、氷はどれですか。

ア 固体

イ 液体えきたい

ウ 気体

おうちの方へ

- ペットボトルをこおらせるときは、少し水をへらしておく理由も考えてみましょう。